

凍結路面での転倒に注意しましょう！

毎年、12月から3月にかけて沼田町内において滑りやすい圧雪・凍結路面で転倒し、救急搬送される事案が発生しております。骨折などの大きなケガに繋がる可能性もありますので、「滑るかもしれない」と意識し、下記のポイントを守り転倒事故を防ぎましょう。

《滑りやすい場所》

- ①人や車の交通量が多い場所
 - ・横断歩道、タイル張りの店内や出入口
- ②重機で除雪後の圧雪路面
 - ・玄関先、施設や店舗の駐車場、歩道
- ③傾斜のある場所
 - ・スロープ、坂道、歩道や道路の傾斜部分



出典：首相官邸ホームページ
「歩行者の雪道での事故」

《転倒事故を予防するポイント》

- ①小さい歩幅で急がず、ゆっくり歩く（足の裏全体をつくように歩くとより有効です）
 - ②携帯電話やスマートフォンに気を取られない
 - ③両手をふさがない
 - ④帽子や手袋を身に付ける（転倒した際、硬い路面の衝撃から、いくらかでも身を守ります）
- ★滑りにくい靴として、携帯用スパイクと言われるゴム製の着脱可能な滑り止め等を積極的に使用し転倒を防止しましょう！

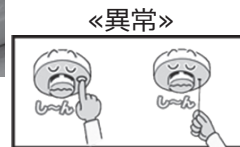
掃除の機会に室内の火災予防対策も実施しよう！

12月を迎えるにあたり、大掃除を検討している方も多いと思います。大掃除は住宅用火災警報器の点検や、普段は動かさない大型家具・家電の裏に目を向ける絶好のチャンスです。大掃除の機会に点検・清掃を実施し火災を未然に防ぎましょう。

①住宅用火災警報器の点検、清掃

- ・ほこりが付着していると火災を感知しにくく、故障の原因となるため清掃をする
- ・電池切れや故障をしていないか確認する

《住宅用火災警報器のほこり》



②配線まわり

- ・冷蔵庫などの長時間差し込まれているコンセント、家具の裏などの見えない場所のコンセントにほこりが溜まっていないか確認し、清掃をする
- ・電気製品のコードが家具などの下敷きになっていると配線の一部が断線し、火災になることがあるので踏みつけられていないか確認する



《プラグのほこり》



《家具の下敷き》

※トラッキング現象・・・コンセントとプラグの隙間にほこりが溜まり、そのほこりが空気中の湿気を吸収することで漏電し発火する現象

沼田町
防火標語

住宅用火災警報器は10年を目安に点検・交換しましょう。

『声かけよう みんなで確認 防火の輪』

